

TEMPUS テンプス



2003年(平成15年) 14号



貝塚寺内町国登録有形文化財マップ



室町時代末期の方便法身尊像 2 幅を指定
～市の文化財を指定しました～

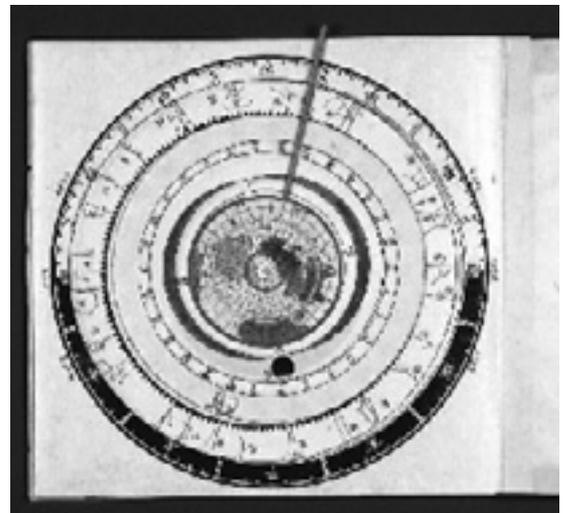
大阪府有形文化財に岩橋善兵衛資料が指定されました。

貝塚寺内の民家10ヶ所33棟が
新たに国登録有形文化財になりました。

地藏堂丸山古墳の発掘調査

平成14(2002)年度埋蔵文化財発掘調査

文字が語りかける「むか～しむかし」



平天儀(へいてんぎ:岩橋善兵衛資料)

室町時代末期の方便法身尊像2幅を指定

～市の文化財を指定しました～

教育委員会では、平成15年2月6日付けで、貝塚市文化財保護条例にもとづき、市内の尊光寺（中町）と願泉寺（同）の絹本著色（けんぼんちゃくしやく）方便法身尊像2幅を本市の文化財として指定しました。

「方便法身尊像」は、浄土真宗寺院において、おもにその寺院が開かれた時に本尊として与えられた阿弥陀如来の絵像です。本願寺8世蓮如（れんにょ：1415～1499）や9世実如（じつにょ：1458～1525）の時代の「六字名号」（ろくじみょうごう：「南無阿弥陀仏」の6文字を墨書したもの）に続いて、江戸時代に木彫像が安置されるまでに多く与えられました。市内では計10幅が見つっていますが、今回は市内最古である尊光寺の大永4年（1524）像と貝塚寺内（かいづかじない）の歴史を考える上で重要な願泉寺の天文19年（1550）像の2幅を指定しました。

貝塚市内には、室町時代の終わりに建設され、1580年代には本願寺が置かれた貝塚寺内地域を中心に、多くの浄土真宗寺院があります。それらの成立を考える場合、当時の本願寺による布教の実態を明らかにする必要があります。そのため、教育委員会では、蓮如時代の布教の実態を探る手がかりとして、平成12年度に善正寺（王子）と妙順寺（三ッ松）が所蔵する蓮如筆の六字名号2幅を指定しています。そして、蓮如に続く実如と10世証如（しょうにょ：1516～1554）によって行われた布教の実態を考える上での貴重な資料として、今回2幅の方便法身尊像を指定しました。

有形文化財（絵画）

名称	員数	法量	時代
尊光寺 絹本著色方便法身尊像	1幅	87.6cm×38.0cm	大永4年（1524）
願泉寺 絹本著色方便法身尊像	1幅	100.9cm×39.3cm	天文19年（1550）

尊光寺 絹本著色方便法身尊像 1幅

尊光寺の方便法身尊像は、淡紺色の地に、48条の光明（こうみょう）を放ち、蓮台（れんだい）に両足をそろえて立つ阿弥陀如来の絵像です。

裏面に「方便法身尊像 / 大谷本願寺釈実如（花押） / 大永四 甲申五月廿二日 / 興正寺門徒泉州州 / 南郡麻生二位村 / 尊光寺常什物也 / 願主釈正」の墨書（ぼくしょ）があり、1524年本願寺第9世実如によって、二位（新井）村の尊光寺に与えられたものと判明します。

汚損などがやや見られるものの、当初の姿のまま残された市内に残る最古の方便法身尊像で、かつ市内に残る数少ない室町時代以前の仏教絵画の一つとしてすばらしいものです。



尊光寺は浄土真宗本願寺派の寺院です。当寺の伝承によると、もとは真言宗寺院でしたが、1493年浄土真宗に改宗し、1524年寺号を尊光寺と改めました。もとは新井村（現貝塚市新井）にありましたが、1588年貝塚寺内の現在地に移転しました。江戸時代は、近隣の村々に所在した真宗道場を支配していました。

願泉寺 絹本着色方便法身尊像 1幅

願泉寺の方便法身尊像は、紺色の地に、48条の光明を放ち、蓮台に両足をそろえて立つ姿の阿弥陀如来の絵像で、尊光寺の絵像より、やや大きく描かれています。

裏面に「方便法身尊像 / 本願寺釈証如(花押) / 天文十九年庚戌八月十日 / 和泉国南郡 / 麻生郷堀海塚 / 願主 釈了珍」の墨書があり、1550年本願寺第10世証如から「麻生郷堀海塚」(あそごうほりかいづか)の寺院に与えられたものとわかります。なお、筆跡や墨の色が異なるため、「願主 釈了珍」部分は後世に書かれたと考えられます。

紺地部分に一部修復が見られるものの、保存状態は良好で、貝塚寺内の歴史を考える上で重要な資料であり、かつ市内に残る数少ない室町時代以前の仏教絵画の一つとしてすばらしいものです。



願泉寺は浄土真宗本願寺派に属する、貝塚寺内の中心寺院です。『貝塚寺内基立書』という由緒書によると、奈良時代に行基(ぎょうき)が建立し、1460年代に蓮如が訪れたという伝承を持つ草庵を前身とします。1583年から3年間本願寺の本山となり、1607年には「願泉寺」の寺号を授けられます。江戸時代は東西本願寺に属し、住職ト半(ぼくはん)家は貝塚寺内の地頭(領主)として町を支配しました。

大阪府有形文化財に

いわはしぜんべい

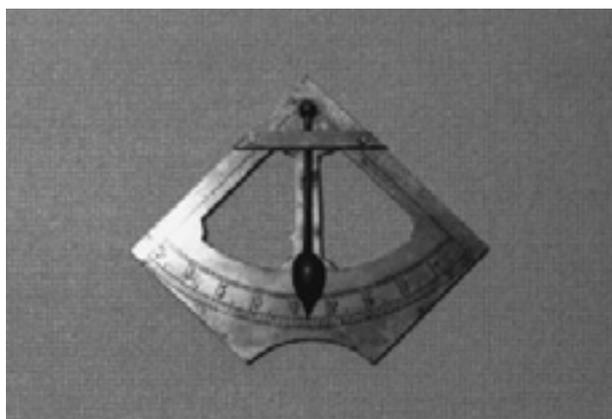
岩橋善兵衛資料が指定されました。

江戸時代、望遠鏡、天体観測道具などを作った岩橋善兵衛の関連資料が平成15年1月31日に大阪府有形文化財指定されました。

善兵衛(1756~1811)は、現在の貝塚市新町で生まれました。天文など自然科学への関心が強く、オランダからの渡来品の研究を重ねました。勉強のため京都の様々な学者に師事し、科学者となりました。

眼鏡のレンズ磨きと言う家業を活かし立派な望遠鏡を作りました。当時では一般的でない正立像(像の上下が逆にならない)で見えるものです。正立像なので地上の測量や観察にも使え、また非常に精巧に出来ていたため、幕府の天文方にも用いられ、日本地図で有名な伊能忠敬(いのうただたか)も地形測量に使用していました。望遠鏡以外では天文観測のための様々な道具、模型を作り、著作も天文を含め数多く著しています。

今回指定されたのは、市立善兵衛ランドで所有する善兵衛製作の望遠鏡3台のほか、五層の円盤からなる星座・月齢・潮汐(ちょうせき:潮のみちひき)の早見盤『平天儀(へいてんぎ)』や、その理論書であり、天文学早分かりの入門書である『天文捷徑(はやみち)平天儀図解』といった著作、天体の地平高度の測定に使う「象限儀(しょうげんぎ)」や方位測定に使う「小方儀(しょうほうぎ)」などの天体観測機器の計10点です。



象限儀

● 貝塚寺内の民家10ヶ所33棟が 新たに国登録有形文化財になりました。 ●

平成14年12月6日、並びに平成15年3月20日に開催された国の文化審議会で、貝塚市内から10ヶ所33棟が国登録有形文化財として適切であると、文部科学大臣に答申されました。選ばれた理由は、「国土の歴史的景観に寄与しているもの」です。これらは室町時代の終わりに成立した貝塚寺内に残る町屋建築で、答申されたものは以下のとおりです。貝塚市北町、西町に所在します。



1 ^{なみかわ}並河家住宅：主 屋 天保3年（1832）
土 蔵 江戸後期

並河家は江戸時代には貝塚寺内の領主であった願泉寺住職ト半家の重臣で、明治以降は貝塚町や泉南郡役所の役人を勤めた家柄です。敷地は広く、街路に西面する主屋は間口一杯に建ちます。主屋の外観は町家形式ですが、内部構造は商家の町家とは異なる趣きを持ちます。



2 山田家住宅：主 屋 江戸末期

山田家も並河家同様、江戸時代にはト半家の家来を勤めた家柄です。江戸末期より古美術商を営み、今日に至ります。主屋は間口一杯に建ち、玄関の摺上げ大戸（すりあげおおど）が特徴的です。



3 竹本家住宅：西主屋 昭和初期
東主屋 江戸末期

竹本家は昭和初期まで本市特産の木櫛製造業を営んでいました。東西の主屋は別構造の2軒の民家建物で、西主屋は貝塚寺内における近代町家、東主屋は江戸時代の町家の良い例です。（竹本久男氏所有）



4 ^{りさい}利齋家住宅：主 屋 江戸中期 土 蔵 江戸後期
離 れ 大正13年(1924)頃

利齋家は、織田信長の兵乱の時（1578年か）貝塚に来住し、子孫に至り利齋を家名にしたと家系図に記されています。江戸時代には薬種問屋を営み、北之町の年寄役を勤めていました。明治以降は医業に携わっていました。主屋は後の改造が大きいですが、原形が17世紀に遡る可能性を持っています。



5 岡本家住宅：主 屋 江戸中期 中 蔵 江戸中期
座 敷 明治期 北 蔵 江戸後期
新 蔵 安政4年（1857）

岡本家住宅は屋号を唐津屋（からつや）といい、江戸時代には醤油製造業を営み、北之町の年寄役を勤めていました。正面の外観は普通の商家ですが、内部は非常に精緻な造りです。主屋は18世紀中頃まで遡る可能性があります。

- 6 宇野家住宅：主 屋 江戸末期 西土蔵 明治期
 茶 室 大正期 工 場 大正期
 東土蔵 江戸末期 高 塀 明治期

宇野家は屋号を金屋といい、江戸時代以来鑄物業を営んでいます。1796年（寛政8）京都御所に仕えた真継家（まつぎけ）から免許を得て、1855年（安政2）には御所へ鉄灯籠を寄進しています。主屋は大規模な町家で、安政の地震後の建築と伝えます。工場は近代工場建築の良い例です。



- 7 尾食家住宅：主 屋 天保10年（1839）
 離 れ 江戸末期

尾食家住宅は、江戸時代には旅籠屋や金融業を営み、幕末から明治期には干鰯屋（ほしかや）や木綿仲買など手広く商っていました。1837年（天保8）に旅籠屋を廃業していることが記録にあるので、現在の建物は旅籠屋として建てられたものではないようです。主屋建立時には干鰯屋を営んでいたようです。



- 8 竹本家住宅：主 屋 江戸末期

竹本章次氏所有の住宅は、古家を購入して内部を改築したものです。当初の住人の職業は不明ですが、東側の無双窓（むそうまど）から願泉寺が見えることや与力窓（よりきまど）が設けられていることから、ト半家家来の住居であった可能性があります。



- 9 吉村家住宅：主 屋 江戸中期から末期 衣装蔵 江戸後期
 納 屋 明治 道具蔵 江戸後期

吉村家は屋号を泉久（いずきゅう）といい、江戸時代には油屋や金融業を営んでいました。建設後大きく改変されていますが、街並みと調和したものとなっており、歴史の重みを醸し出しています。



- 10 廣海家住宅：主 屋 江戸末期 下 蔵 江戸末期
 離 れ 明治 新 蔵 大正
 居間蔵 江戸末期 納 屋 江戸末期～明治
 中 蔵 江戸末期 高 塀 江戸末期～明治

廣海家は穀物や肥料を取り扱う廻船問屋（「諸色問屋」といいました）でした。1835（天保6）年に創業し、江戸時代の終わりから明治期にかけて飛躍的に繁栄し、戦前まで肥料問屋を営んでいました。屋敷地はほぼ一街区を占め、主屋の外観は重厚な趣を持っています。



国有形登録文化財とは

この制度は平成8年の文化財保護法改訂に伴って制定されました。これまで35次にわたり登録されています。

登録文化財は、国、地方自治体指定物件以外を対象とし、その文化財としての価値にかんがみ、保存及び活用のための措置が特に必要とされるもので、土木構造物等を含め幅広く登録し、緩やかな保護措置を講ずることで所有者の自主的な保護に期待する制度です。

貝塚市内では、水間鉄道株式会社水間駅舎が平成11年に登録されています。

● 地蔵堂丸山古墳の発掘調査 ●

地蔵堂丸山古墳は近木川左岸に位置し、近木川から派生する丘陵上に築かれた全長約70mの前方後円墳です。周辺では古墳時代中期の埋没古墳も見つかっており、古墳時代に周辺一帯に強い勢力を持った者がいて、集中的に古墳を築いていたことがわかります。

地蔵堂丸山古墳では平成12年度より外周の溝改修やフェンス設置工事などの整備に伴い、発掘調査を続けてきました。その結果、古墳外周の裾部分においては、近世から近代にかけて何度も石垣を作り変えるなどの改変を重ねており、墳丘面はほとんど残っていないことがわかりました。

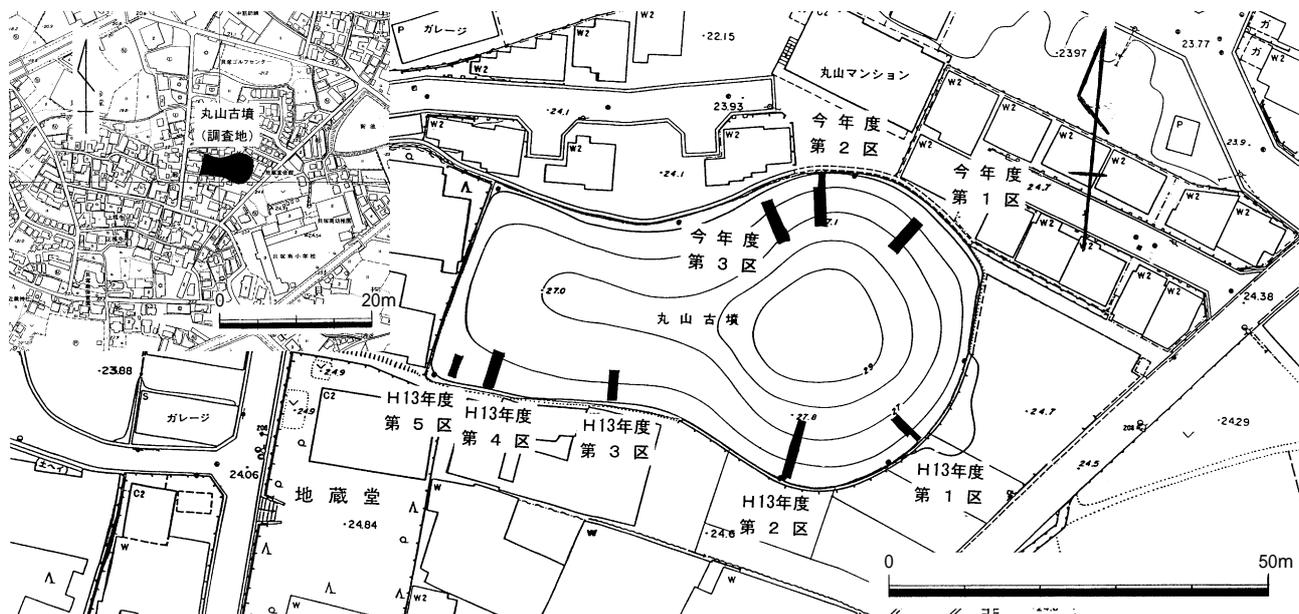
昭和27年には後円部北東側、現在の古墳入口部分において、開発目的の大規模な土砂採取が行われ、墳丘面が大きく壊されています。その際、大阪府によって緊急発掘調査が行われ、昭和31年には国史跡の指定を受けました。

今回の調査では、後円部の南側に3ヶ所の調査区を設定し、調査区名を東から第1～3区としました。

第1区では昭和27年の土砂採取により墳丘は大きく削り取られており、全く残っていません。第2区では墳丘がわずかに残っているものの、上面は土砂採取により削り取られ、古墳築造時の面影はありませんでした。周辺の住民などの聞き取りから、上記の大規模な土砂採取のほかにも建材用の壁土を採取していたとのことでした。

第3区では近代以降の盛土層を取り除くと、墳丘面及び埴輪列と墓石を確認しました。

埴輪列は若干北西に振って、4基の円筒埴輪を検出しました。埴輪の直径は約30cmで、基底部から1段目のタガまで残っていました。おそらく1段目テラスの端に立て並べられていたと考えられます。



第3区検出状況



埴輪列（第3区）

埴輪はその形状や製作時の特徴から古墳時代前期（4世紀末）のものと考えられます。

葺石は2段目の斜面に葺かれたものと考えられ、20~40cm大の川原石を積んでいます。石の積み方から非常に計画的に積み上げている様子がうかがえます。

本古墳は4世紀末に築造され、テラスと斜面部の様子から後円部は3段築成であると推定できます。地蔵堂周辺では続いて5世紀にも古墳が築かれており、4世紀末から5世紀にかけて貝塚市域に大きな古墳を築くことができる強い権力を持った人物が存在していたことがわかりました。今回の調査は泉南地域における古墳時代の地域勢力を考える上で重要な発見となりました。

●平成14(2002)年度埋蔵文化財発掘調査●

平成14年度の発掘調査は1月末日現在、遺跡内の確認調査を47地点、遺跡外の試掘調査を8地点行いました。とくに宅地造成に伴う調査では古墳時代、中世の遺構や遺物を確認し、重要な成果を得ることができました。

小瀬五所山遺跡は、津田川右岸に位置する弥生・古墳時代、中世の集落跡であると推定されています。今回の調査では、掘立柱建物跡を2棟確認しました。1棟目の建物を構成する柱穴の直径は約1m、深さ0.5m以上もあり、時期は古墳時代以降と考えられます。2棟目の建物を構成する柱穴の直径は約0.4mであり、出土した遺物から1棟目より古く位置付けられる可能性があります。さらに調査地外にのびる柱穴もあり。建物の数が増える可能性があることから、古墳時代より数時期にわたる集落が存在していたと考えられます。

近木川右岸に位置する麻生中薬師堂遺跡は、今回新しく発見した遺跡です。調査では多数の柱穴を検出しました。これらの柱穴の埋土より7世紀頃の土師器、須恵器が出土しており、古墳時代終末期もしくは古代にかけての掘立柱建物が存在していたことが判明しました。また検出した柱穴の一つには弥生土器を含むものがあり、本遺跡の東に位置する石才南遺跡では弥生時代の竪穴住居跡などを確認しており、両遺跡の関係が注目されます。

加治・神前・畠中遺跡は、近木川右岸に立地する弥生時代から中世にかけての複合遺跡です。近接する2ヶ所の調査地からは中世の溝、鋤溝（すきみぞ）を検出しました。溝の規模は長さ26m、幅0.5mであり、農地に伴う用水路と考えられます。この溝は鋤溝よりも後に造られていることから、農地化開始以降、新たに設けられた水利施設と考えられます。中世における土地区画の変遷を知るうえで貴重な資料となりました。

遺跡名	調査件数	調査面積 (㎡)	遺跡名	調査件数	調査面積 (㎡)
脇浜遺跡	1	8.00	沢海岸遺跡	1	62.00
福田遺跡	1	4.50	石才遺跡	2	6.00
半田遺跡	1	9.25	明楽寺跡	1	31.25
新井・鳥羽北遺跡	1	633.00	清児遺跡	1	5.00
新井ノ池遺跡	2	419.65	鳥の池西遺跡	1	25.00
麻生中薬師堂遺跡	1	32.50	三ツ松北垣外遺跡	1	10.80
地蔵堂遺跡	3	27.62	橋池遺跡	1	70.26
秦麿寺跡	1	6.00	水間寺遺跡	1	22.50
沢城跡	3	28.50	三ヶ山西遺跡	2	44.75
海塚遺跡	1	40.00	木積遺跡	1	4.05
地蔵堂丸山古墳	1	25.20	小瀬五所山遺跡	3	664.20
堀秋毛遺跡	1	10.00	津田北遺跡	1	68.50
加治・神前・畠中遺跡	13	742.54	遺跡外	8	319.14
半田北遺跡	1	8.25	合計	55	3,328.46

平成14(2002)年度発掘調査一覧表

● 文字が語りかける「むか～しむかし」 ●

「むかしの人ってどんな生活してたん？」という素朴な質問をよくされます。古文書（こもんじょ）講座をスタートしてはや6年、その質問にこたえることを課題にしています。江戸時代が終わって135年になりますが、そんなに大昔のことではないのに、今や時代劇のなかだけのお話です。でも、古文書にはその時代劇の素（もと）が眠っています。

「古文書」と言うと、ミミズのはったような読みにくい字でとっつきにくいと思われることが多いですが、ぜんぜん読めないということはありません。一文字でも二文字でも読める字があって、少しずつですがジグソーパズルのピースをうめるように読んでいきます。根気のいるものですが、そのため読めたときの満足感も大きいように思います。

平成15年度の古文書講座（予定）

「こやしの値段で大騒ぎ 貝塚寺内と周辺村々」

江戸時代後期に見られる「こやし」を売る貝塚寺内と、それを肥料として買い求める周辺村々の争いを取り上げます。

「かいづか捕物ばなし 人相書きとお尋ね」

江戸時代に「つかまった」人たちは、どんな悪いことをしたのか。本当のところを地元の史料から明らかにしていきます。

「お伊勢さんと御師 江戸時代の旅と信仰」

江戸時代に人々が旅した「お伊勢さん」の勧誘のために村々へやってくる「御師（おし）」の活動を見ていきます。

古文書がだんだん読めるようになってくると、当時のことばづかいや習慣など、現代の生活では味わえない不思議に出くわします。さらに読めるようになると当時の様子が再現フィルムを見ているかのようにイメージできるようになります。古文書講座はその道しるべとして、さまざまな資料を使い、古文書を読み解く場になっています。

毎回テーマを変えながら、その時々ホットな話題にも取り組んでいます。例えば、政治の話題がニュースでよく取り上げられたときには「構造改革」と比べながら、江戸時代の藩政改革を取り上げたりしました。水不足の年には、200年前の水争いの話もしました。このように身近な話題を通して、ちょっとむかしを見てみると、思いがけない発見があるものです。

みなさんもこの春、古文書講座でタイムスリップしてみませんか？



古文書講座風景

編集後記

今年度は市指定文化財に加えて府指定文化財に岩橋善兵衛資料が指定されたほか、貝塚寺内の古い民家が国有形登録文化財に選ばれました。市内の文化財の豊富さを実感するとともに、重要性を再認識した年となりました。

かいづか文化財だよりテンプス14号



平成15年3月28日発行
貝塚市教育委員会
〒597-8585 貝塚市畠中1丁目17-1
☎(0724) 23 2151
印刷 (株)中島弘文堂印刷所

テンプスとはラテン語で「時」を意味します